



重症化・合併症予防対策

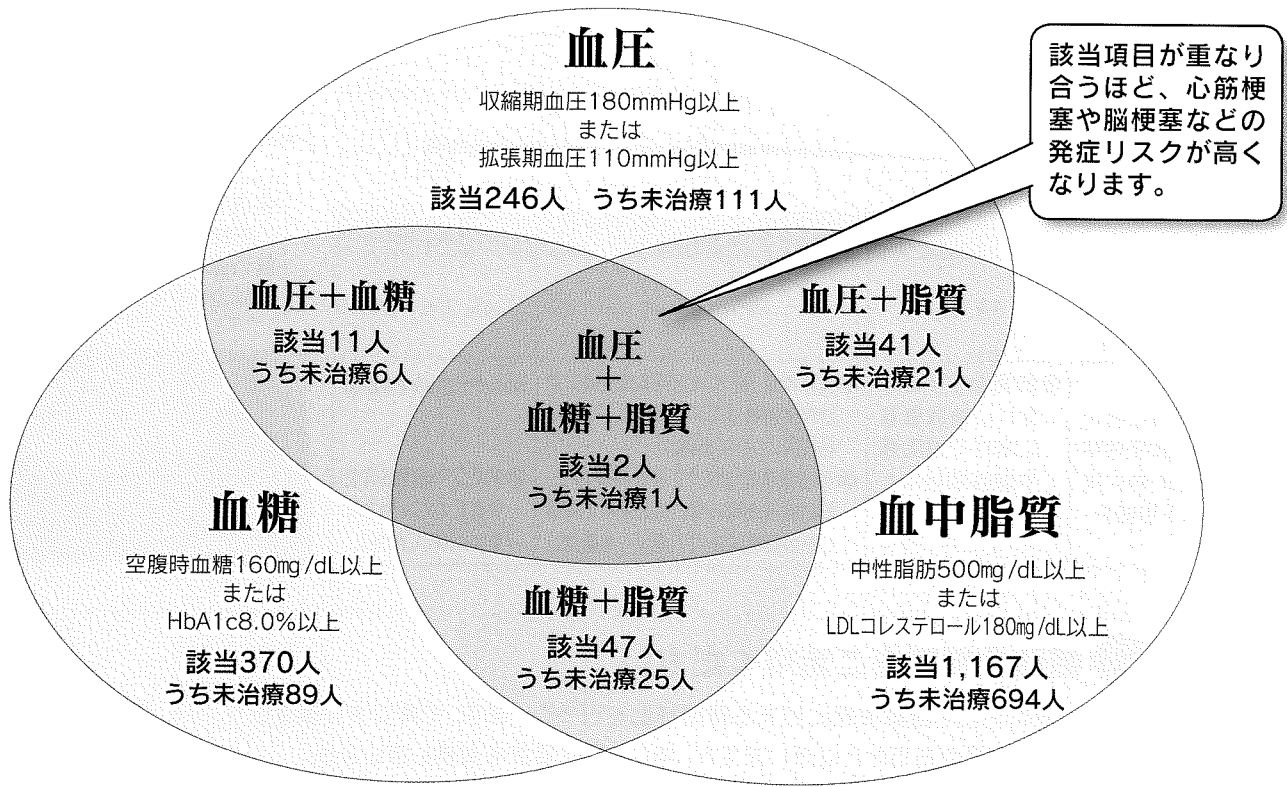
平成28年度各種健診を受検された40歳以上の方のうち、**血圧・脂質・血糖**が受診勧奨値(要治療)で治療を受けていない方に受診勧奨文を送付しています。

受診勧奨値に該当している方は、将来的に心筋梗塞や脳梗塞・脳出血、糖尿病の合併症など重篤な病気を引き起こす危険性が極めて高い状態にあります。これらの病気が起こると、突然命を落としたり、合併症や後遺症が生涯続く、または寝たきりになる等、これまでどおり元気に過ごすことが難しくなります。

勧奨文が届いた方は、放置することなく速やかに受診しましょう。また、すでに受診中の方も主治医の先生と相談しながら必ず治療を継続しましょう。

● 受診勧奨値該当者（要治療者）の内訳

全受検者数 23,055 人のうち、1,883 人 (8.17%) の方が受診勧奨値に該当していました。
そのうち、947 人 (4.11%) の方が未治療につき勧奨文を送付しました。



<参考>平成27年度受診勧奨の結果

受検者数	勧奨基準値		内訳				勧奨後受診状況	
			治療中		未治療			
	該当(人)	割合(%)	該当(人)	割合(%)	該当(人)	割合(%)	受診(人)	割合(%)
22,741	2,122	9.33	1,108	4.87	1,014	4.46	158	15.58

約85%にあたる856の方が、危険な状態にもかかわらず、未治療のまま放置!

なぜ病院に行かないの?!

病院に行く時間がない、めんどくさい、薬は飲みたくない...どれも理由としてわからなくもありません。軽度の異常であれば自力で生活習慣を改善してデータを良くしていくことも可能ですが、当組合の重症化基準値に該当するまでデータが悪化している場合には、生活習慣の改善のみで劇的に良くなることは極めて難しい状態です。

しかし、今から定期的に通院し、医師からの指導と治療を受け続けることによって、仕事や日常生活に支障が出るような重大な病気の予防につながります。自分のため、家族を守るためにも、受診勧奨文が届いた方は、必ず病院を受診してください。